



MINT news



2026年3月 春の交渉妥結



飯沼社長

回答書を受け取る
池田執行委員長

労使協議会での主なやりとり

- ①メンバーズVOICE、支部大会報告
- ②賃金要求 ③会社回答
- ④組合回答受諾コメント ⑤会社コメント

日々の業務たいへんお疲れさまです。
今回の「2026年度春の交渉」のメンバーズVOICEに出席いただいた皆さま、ありがとうございました。

3月17日（火）支部大会を経て、3月27日（金）に労使協議会を開催し、2026年度春の交渉組合要求を行いました。
即日、会社より満額回答をいただきました。

開催日時：3月27日12:00～
開催場所：日本橋パーキングビル3階会議室
参加者
（会社）飯沼・上野・東（敬称略）
（組合）池田

●メンバーズVOICE、支部大会報告＜池田支部執行委員長＞

- ・2026年度春の交渉組合要求案については、3月17日開催の支部大会において満場一致で可決しました。
寄せられたメンバーの声をお伝えします。

●主なメンバーの声

- ・今回のベースアップも含めた次年度賃金の要求については、物価の上昇等による生活の厳しさを感じている中、ありがたいと思います。
- ・一方で、今回のベースアップによって、昨今の物価上昇に完全に対応できたかと問われると、未だ課題を残しています。
- ・また、初任給水準を引き上げたことによって、特に30歳前後の若手社員のモチベーションの危機感は強まっており、中堅社員から見ても、処遇水準や働き方に関するネガティブな理由での離職を防ぎたいといった意見も多くいただきました。

※この他、下記のご意見もVOICEにて伺いましたが、その内容は安全衛生委員会および経営懇話会、労使事務局にて労使で共有します。

※皆さんの声の詳細については、別添の資料にて共有させていただきます。



MINT news



●組合回答受諾コメント<池田支部執行委員長>

今回の春の交渉の妥結について、組合として、一言申し上げさせていただきます。
まずは、組合の要求に対しての満額回答、誠にありがとうございます。

今回の要求については、通年協議体制の中、過去から継続して議論してきた問題点に対する制度改定も含まれています。

メンバーとの意見交換の中では、多くの方から60歳以降の働き方や添乗関連等に、現状の問題に対するの対策が議論されていたことに感謝の声も寄せられました。

一方で、本給表など、やや複雑な改定もありましたが、今回は「理解を深めよう」と、質問・確認をおこなわれる方が多かったことも印象に残っています。

今年度のMINTについては、新たな中期経営計画も示され、中長期的なビジョンを共有し、理解を深め、前進する年だったと思います。

統合DX事業を進め、グループのより多くのお客様に、旅行および旅行に関連した価値を提供することを目指した方向性は、組合としても納得感の高いビジョンと捉えています。

次年度については、体制の変更等もありますが、長期に目指す姿は変わらず、さらに前に進めていく年になると捉えています。

組合としては、その進捗や細部変更点などの確認をおこないつつ、目指す未来の実現に向けた取り組みをおこなっていききたいと考えています。

事業のさらなる発展を目指す中では、やはり「人の力」こそ、最重要と捉えています。

次年度においては、従業員が主体的に行動していくこと、人財の力を重視すること、働く仲間が相互に尊重することを重視したいと考えます。

今回の春の交渉におけるメンバーとの意見交換では、例えば若手社員の初任給水準に対する意見や、評価、働き方に関する意見も多く伺いました。

今後も、一つ一つ労使で確認・協議し、メンバーの働きがい・働きやすさの向上と、さらなる企業の発展を目指して、取り組みを続けていききたいと思います。

この度は誠にありがとうございました。



MINT news



●会社コメント＜飯沼社長＞

今回の賃金要求に関しては、皆さまの1年間の取り組みの成果によりしっかりとした成果を残せること、そして継続するインフレが生活へ与える影響を踏まえて検討された水準と認識し、満額の回答をいたしました。

メンバーの声について、組合からの共有も確認し、その思いを一定程度叶えることができたと思います。

ここで改めて、数年間にわたる当社全体の歩みについて総括させていただきます。

私が2022年度に社長へ就任した当時、当社はコロナ禍の真っただ中にあり、約10億円の赤字を抱える厳しい状況にありました。

この困難を乗り越えることができたのは、皆さま一人ひとりが改革に真摯に取り組み、献身的な姿勢と努力を惜しまなかったからにほかなりません。

その結果、本年度は過去最高益を更新し、力強く成長する企業へと変貌を遂げることができました。特に、MINTのメンバー各自の力を結集し、MIグループとの連携を一層深めることで、シニア層や富裕層に向けて高感度かつ上質な旅を提供するビジネスモデルを確立することができました。

改めて、これまでのご尽力とご協力に心より感謝申し上げます。

これからの当社の発展に向けては、改めて、この旅行業の素晴らしさを実感していただきたいと思えます。

旅行業は、自らが商品を造成し、販売し、最後に添乗員としてサービスを提供するものです。百貨店業も接客を通じて感動を提供する、そのことに喜びを感じる場面は多くあります。しかし、旅行業はそれを超えて総合的にサービスを提供できる、まさに従業員一人ひとりが多くの場面で感動起点になれる産業です。

もちろん多くの困難を伴い、たいへんなことも多いと思えます。そのなかでも改めて、旅行業を通じて、素晴らしい体験ができるということを実感してほしいと思えます。

我々を取り巻く環境と業績への影響で申しますと、この後の為替状況が円高となれば、業界全体としては一定の恩恵を受けることが見込まれます。しかし、旅行業会全体に中長期的に目を向ければ、主催旅行の需要は、日本の人口減少やAI台頭の影響により業界的には段々と減少していくと予想します。

そのようななかでも、当社は、その環境においても生き残れる3つの強みを持っています。

1つは、セレナーデ号の船旅やゆったり度3の旅といった、高品質のシニア向けコンテンツです。シニア層をターゲットとした商品造成力や、お客様と接するホスピタリティーは、同業他社では簡単に追いつけないほどのレベルです。

2つ目は、グループの外商との連携です。全国の百貨店の外商を活用して旅行商品を届けるスキームは、日本で当社のみが持つ唯一の力です。

3つ目は、MI経済圏のカード顧客約200万人やグループ個客約850万人に体験型ビジネスを提供できる仕組みです。

「モノからコトへ」との話はこれまでもありましたが、「体験イベント」などのスケジュール管理をするシステムがないとこのビジネスは進みません。そのなかで、当社はすでに旅行に特化したシステムを持っています。

この3つの力を持つ企業は、日本に当社しかありません。今後も、この素晴らしいメリットを最大限に活かしてほしいと思えます。

これまでやってきたことを大事にしながら、新しいことも受け入れ、チャレンジしていくことが重要です。

今後の三越伊勢丹ニコウトラベルは、より「働いて楽しい」と思える会社となるでしょう。ただ、「楽しい」ということだけではなく、働きやすくなけてはいけないとも思えます。

ここにきてようやく、今までできなかった要員体制整備や、今回のような制度改定ができるようになってきました。

会社としても、より皆さまが働きやすい環境になってほしいと思えます。

ぜひ、これからも頑張ってください。



Isetan Mitsukoshi Group Labor Union

MINT news



LINE@お友達募集!!

LINE@を登録しよう!

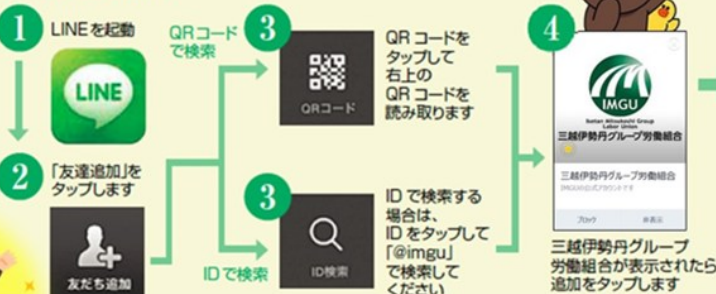
- * 労働組合の活動報告や、
- * 共済会のお得情報をいち早くお届け!!



三越伊勢丹グループ労働組合公式 LINE@

LINE@では、メンバーの皆さんへ労働組合や共済会からのアンケートやイベントの募集などを行える広報ツールとして活用してまいります。

〈LINE@登録方法〉



◆HP閲覧時の、ユーザーID：ご自身の社員コード10桁 パスワード：im を入力!!

労働組合：801-23-911 / 共済会：801-23-914

三越伊勢丹グループ労働組合(IMGU)
公式マスコットキャラクター

「イングちゃん」です♪

皆さんよろしくお願ひしますうさ~♡🐰



Twitterの登録をよろしくうさね! 🐰

IMGUの活動やグループ各地域の紹介をしているうさよ 🐰



イングちゃん 🐰 三越伊勢丹グループ労働組合 (IMGU) 2月10日9日 ...
おはようさ~ 🐰
前回の出張時に #広島三越の隣にある #幼子神社へお参りに行ってきたうさよ 🐰
店舗のお隣りとは聞いていたけれど、ほんとにピッタリ隣にあってびっくりしたうさね! 🐰
なんと410年も前からずっとこの地で親しまれている「高亮の神様」! 今後ともよろしくうささ~ 🐰 新々



自己啓発支援制度の申請は メールでも可能です!

メールでの申請

jikokeihatsu@imgu.or.jp



※領収書が紙の場合
現物の提出が必要です。

※従来の送達や持参での申請も可能です。

自己啓発支援制度 は三越伊勢丹グループ企業に雇用される従業員の自己啓発にかかる費用を補助する制度です

- ◇ 組合員: 総額に対して1/2 年間利用総額 40,000円/人
- ◇ 非組合員: 総額に対して1/4 年間利用総額 20,000円/人

※詳細は右のQRコードからご参照ください

